

第8期 ダムマイスター 名簿

任期：2024年4月1日～2026年3月31日 ※任期中の追加任命あり

(2025年9月1日現在)

No.	名前	居住地	区分	活動等
01-003	夜雀	奈良県	一般	HP「雀の社会科見学帖」で、ダムの歴史、構造、計画・設計、管理・操作について掘り下げた結果を公開・更新している。水資源機構共催「ダム友と語る会」など講演・トークショー等多数。精力的に活動を続けている。2024年東アジア地域ダム会議に、JCOLDより協力依頼にて参加。
01-008	川崎 秀明	東京都	専門家	ダム技術の語り部・伝承者。独創技術にこだわる。ダム工学会評議員。ダム工学会活性化小委員会委員長として「with Dam☆Night」を主催、支援を行っている。講演や執筆活動(月刊ダム日本 連載中)の他、自身の著書も。
01-018	神馬シン	愛知県	一般	SNSでは、ウェブサイト「ダムペディア」の運営をメインに、ダムの紹介や、ダム巡りドライブコース、最新ダムニュースなどの情報提供。テレビ・新聞・企業CM・写真集や講演などを通じてダムの素晴らしさを紹介している。関西電力東海支社では、ダムマイスター講演会。東海テレビへの出演も。
01-024	安部 豊	東京都	一般	ダムマイスターに再び任命。近年では、ドローンを活用した空撮を開始し、令和4年国土交通省東京航空局長より全国包括許可を取得。三保ダムをはじめ現在までに12基の空撮を完了。今後も継続し、地上からでは見ることのできない映像を広めていく。
02-035	星野 夕陽	東京都	一般	ダムによる防災を研究、講演も多数。豪雨の際はSNSでダムの防災操作をリアルタイムで実況・解説。日本ダムアワードの選考委員、プレゼンターやダムツアーのアドバイザーも行う。ダムと防災について世間一般に周知する活動を行う。
02-037	ピンクのうさぎ	滋賀県	一般	「滋賀&ダム友の会」会長として、年数回ダム見学会を開催。全国のダムを巡り、「四国堰堤ダム88箇所巡り」完走・ダム神認定も。広報誌・ブログ、見学会でダムの魅力を伝えている。ウォーターステーション琵琶にて、会の活動をパネル展示。月刊ダム日本へレポートを執筆。
03-038	町田奈桜	東京都	一般	「親子でダムを楽しんでもらう」、「地域の人にこそダムをもっと知ってもらおう」という2つをテーマにダムの紹介活動を行う。ダムの地域における「ダムを絡めた活性化施策」への助言。YouTube「デミー博士の土木TV」へのライブ出演、「土木の日」土木でSNSをジャックするイベントの実行委員なども行っている。
03-040	しよさん	高知県	一般	四国在住のダム愛好家として、四国のダムの魅力を発信。2022年～吉野川ダム統合管理事務所の広報への助言・協力。ダムファンとの意見交換会や柳瀬ダム関連施設の合同視察会などダムツアーへの協力も行っている。四国堰堤ダム88箇所PR大使。
03-042	かみさと	埼玉県	一般	数台の撮影機材を使い分け、ダムの写真・動画を撮影。X、Instagram、YouTube、ダム便覧に写真・動画を投稿。YouTubeチャンネル登録者数は2000人以上。近年では、アニメ「ぼっち・ざ・ろっく！」に映像協力。秩父4ダム特使(秩父4ダム連携検討会任命)。
03-046	佳 (よっしー)	岐阜県	一般	岐阜県 丸山ダム・新丸山ダムをこよなく愛するダム愛好家。頻りに丸山ダムを訪れ、『月刊丸山ダム』を2017年から毎月発行(国土交通省中部地方整備局のHPにて連載)。ダム日本への原稿掲載や、ダムアワードプレゼンター、旅行会社のツアー協力等ダムの魅力を発信している。2024年東アジア地域ダム会議に、JCOLDより協力依頼にて参加。日本ダム協会設立50周年シンポジウムにて登壇もこなす。
04-048	岡本 政明	東京都	専門家	ダムの計画・調査、設計、施工管理、水力発電の調査、計画、設計に55年に渡り携わる。経験をもとにダムマイスターの疑問、質問に対し、経験に基づいて対応。自身が関わったダムを中心に、管理所を訪ね、意見交換。第21代ダム工学会会長、現在は顧問を務める。
04-049	炭素	神奈川県	一般	日本全国のダムを訪問、特に建設中、工事中のダムの見学、取材を中心に活動している。SNSを活用した効果的なダムの魅力、活躍の情報発信方法について検討、開発をしている。
04-051	目黒 公司	新潟県	一般	新潟・福島県とその近隣県を中心に活動。管理事業者とは異なる視点から、継続的にダムに興味を持ってもらうためダムが立地する地域の特徴や変化の有無も見据え、地域資源としてのダムの活用を考えている。ダム便覧「このごろ」への投稿。
05-054	尾山 玲	北海道	専門家	コンサルタントとして30年以上、ダムに関する設計・施工に携わる相談役のプロ。コンサルタントならではの判りやすい説明を武器に、ダムの魅力を広く伝えている。札幌テレビ「ブギウギ専務」や「with Dam☆Night」、現場見学会の企画運営に携る。新たにオンライン会議にて、ダムだけでなく治水事業に関する旬な話題をも広く発信していく。
05-056	伊藤 博	東京都	専門家	数多くのダムの設計、施工計画などに参画従事。日本大ダム会議事務局局長として、H24の国際大ダム会議京都大会運営。土木学会「海外ダム再生・再開発調査検討WG委員長」を務めるなど国内のみならず国際規模で活躍を続けている。
05-060	平野 勇	東京都	専門家	ダム工事事務所、研究所、大学、財団、民間を唯一幅広く経験した、数少ない国交省系のダム地質のベテラン専門家。近年では、土木学会岩盤力学委員会のアドバイザーとして参画などオンサイトツーリズムにも力を入れて多方面でも活躍している。

No.	名前	居住地	区分	活動等
05-061	谷田 広樹	宮城県	専門家	東北のダムを中心に計画調査から設計、工事、管理、ダムを活用した地域づくりまで、幅広い経験と知見を持つ「ダム技術者」。ダム現場実務者への講演、ダム管理所との意見交換などで課題解決にも協力している。また、一般の方にわかりやすい説明も得意とする。仙台圏情報メディア「河北ウィークリー」ダム特集記事の企画にも携わる。
05-062	岡部 章	宮崎県	専門家	2014年に「土木写真部」を設立。仲間とともに、ダムをはじめとする土木構造物の役割や歴史的な価値を伝える活動に取り組む。SNSや写真展などによる情報発信を行うほか、各種書籍等への寄稿も行っている。ダム等の土木工事の調査・設計・監督業務に携わる専門家。また、写真だけにはとどまらず土木学会Web広報誌「FromDOBOKU」への寄稿や宮崎放送に出演するなど広報活動は多岐にわたる。
05-065	奥平 恒望	北海道	専門家	北海道庁職員として、長年多くのダムの計画・建設・管理に携わった専門家。経験を活かし、テレビ番組等を通じた情報発信、ダムなどのインフラツーリズムコンダクターもこなす。厚幌ダム所在地 厚真町との10年にも及ぶ繋がりをイベント開催等で継続していく。また、徳富ダムの「インフラストックを活用した地域振興」の世話役として携わり令和4年からお酒の貯蔵を実現させている。
06-067	山田 拓実	熊本県	一般	月刊ダム日本に「ダムことはじめ」を連載。寄稿では、ダムのクローズアップはもちろんのこと、周辺地域の情報や特徴、ダムと地域との関わりにも焦点を当てている。今後も、ダムと流域のつながりについて考え続け、地域にとってダムが誇りだと思ってもらえるような活動を続ける。
07-068	武本 謹二	徳島県	専門家	建設省、国土交通省に所属し四国管内のダム建設やダム管理に約24年携わり、実調から管理までを経験。整備局内の事務所等で伝承会や防災エキスパートとして講習会・現地調査等に参加し、地域の防災・減災に寄与するダム技術の継承やボランティア活動等を行っている。
07-069	SUJUN	福島県	一般	東北・北陸・北関東を中心にダム巡り、多くの見学会などに参加し、その地域の産業遺産・土木遺産なども併せてSNS等で紹介している。ダム関連のファンイベントを開催し、ダムファンの交流の場を作っている。
07-070	瑞梅寺 穰司	福岡県	一般	主に動画投稿にてダムの普及を図る。訪ねたダムをYouTube・ニコニコ動画等の動画サイトで発信。サイト利用者の中でターゲットを絞り広報することで、実際にダムを訪れるフォロワーを増やした。同サイトにてキャラクターを活用し、「ニコニコダム祭り」と題し、動画投稿を募集するイベントも行うなどダムの魅力や楽しさが伝わるよう活動をしている。
07-071	古川 旭	新潟県	一般	学生のダム好きの輪を深めるGDYY(全日本ダム学会)を設立、全国のダム好き（特に学生や若年層）に向けてダムの魅力を発信する活動を行いダム見学会では現地での楽しみ方も紹介している。強みの文献調査力と知識の吸収力を武器にテレビなどでも周知活動を行っている。
07-072	柿原 佳乃	福島県	一般	全日本青少年学生ダム学会会長として、会報の作成（Twitterで公開）、トークライブを主催。若い世代にダムの魅力を広める活動をしている。水力発電分野を得意とし、現地交流会やYouTubeでダムマスターの紹介を行うなど幅広い世代への広報を目指し活動を続けている。
07-073	三笠 清治 (朝倉市3ダム 愛好家 三ちゃん)	福岡県	一般	ダムの下流に位置する地域に在住し、2023年に緊急放流を経験。浸水地域に住む目線を生かしダムの役割・魅力の発信を続ける。また、ダムグルメ、ダムグッズ制作を行いながら持続可能な地域振興を考える。小学校への訪問や企画展示、緑川ダムでの意見交換、現地見学会での意見交換にも参加し、河川財団プロジェクトWET EDUCATOR(指導者)の資格を取得するなど益々、活躍の場を広げている。
07-074	北川 久雄	東京都	専門家	10年以上、年100基弱の全国のダムを巡る。土木技術の専門家。「フォーラム21」：他業種交流会会報に「ダム巡礼」を掲載。Facebookでも、土木屋目線の発見や感想を含めながらダムの魅力を発信している。多くの方とダム事業の架け橋にと願う活動を続けている。
07-075	Rico	静岡県	一般	「滋賀 & ダム友の会」に参加。見学会や会報誌への記事提供・情報発信を続ける。また、静岡のダム愛好家「withダムわちゃしぞーか」を発足。InstagramやXを通じ、情報発信や交流を行う。防災士として災害に注目して発信を継続。長島ダムやふれあい館を中心に大井川流域で地域と協力し、地元のダムをアピールする活動も。
07-076	くにおは-----ん	兵庫県	一般	兵庫県の石積ダムを中心に調査・研究。SNSでは、「近畿ダムダム団総統」として、近畿、四国、中国地方を中心に地域に密着した活動を発信している。地元の「街歩きツアー」等で戦前のダムやダムカレーを紹介するイベントにも携わる他、オンラインでのプレゼン活動も行っている。
07-077	みつはし	東京都	専門家	国交省でダムカードの企画立案のほか、「カワナビ」、「ダムコレクション」などのダム広報にも多く携わってきた専門家。書籍の企画、グッズ製作なども行う。テレビ出演、講演、執筆等多数。益々活躍の場を増やし活動している。
07-078	damjin	神奈川県	一般	2008年からダム巡りを始める。ダムアワードにて実行委員やプレゼンターを務め、ダムトークショーにも出演。黒部ダムカードVer.1.0に写真提供。国土交通省水管理・国土保全局が設置・運営する「ダムコレクション」にて、ダムを紹介。四国堰堤ダム88箇所巡り」完走・ダム神認定。
07-080	福角 正美	東京都	一般	2千を超えるダム・堰堤・溜池を訪問。ダム便覧、フォトアーカイブに2万枚以上提供。フェイスブック等でダムの魅力を発信。自治体や土地改良区などと交渉し立ち入り禁止規制のあるダムへも見学取材しブログに掲載。月1回のペースでミニ見学会を実施。執筆も精力的に行う。
07-081	石井 秀紀	大阪府	専門家	日本や世界の約100基のダムに建設コンサルタントとして約40年関わる専門家。管理技術者として国交省局長賞を6度受賞。ダム工学会、評議員、現理事（9期目）。『ダムの科学』を執筆。近畿のwith dam Nightを企画実施。プロ目線で解説する見学会等を実施。ダムのことを正しく伝える、をモットーとし、日本各地の魅力的なダムを紹介するとともに「プロの解説付き見学会」などを行いダムの伝道師を目指す。

No.	名前	居住地	区分	活動等
08-082	半炒飯	群馬県	一般	自称「間瀬堰堤愛好家」として、埼玉・群馬のダムを中心にSNSにて情報発信。埼玉県観光物産協会主催の「埼玉ダム巡りツアー」にて間瀬ダム・バスガイドを務める。自作のダム型ヘルメットを携えインフラ見学会にも参加するなど、精力的に広報活動をしている。
08-083	北九州のダム好き	福岡県	一般	自身の各種SNSで、広報活動を行うだけでなく、九州KBCラジオへの出演や日本ダムアワードへの写真提供も複数。広島県営SNSなどでも情報を発信。福岡県のダム好きさん「QDY」メンバーで西日本エリアでの「ダム活」を盛り上げるべく見学会の企画などにも取り組んでいる。
08-084	ブライtb	滋賀県	一般	「滋賀&ダム友の会」副会長。大戸川ダムフェスに会として、ブース展示のほか、SNSでは、X、アメブロにて情報発信を行う。ウォーターステーション琵琶にて「ダムと防災展」を開催。内ヶ谷ダム建設現場見学会に参加。
08-085	相楽 志津雄	大阪府	一般	全国各地のダムを見学し、興味のある関連構造物にも焦点を当て総合土木としてダム事業の理解を広げる周知活動を目指している。全日本青少年学生ダム学会(GDY)広報、交流会のセッティングやトークライブに参加、HP(土木取調掛)やXで活動。
08-086	ぎやーす	福岡県	専門家	現役のダム管理所職員。「甚大な災害への対応」、「福岡県の人口減少に伴うDX化対応」、「堆砂量増加・老朽化に伴う長期的な保全計画見直し」など多数の問題がある中で、今後の展望として改めてダムの大切さや、将来のダムに係る活動を計画中。
08-087	デミ-博士	長崎県	一般	こどもをターゲットに、「建設業があこがれの職業ナンバー1」を目指して広報活動を行っている。テレビ・ラジオ・イベント・出前講座・動画・写真などで紹介。この活動により2,000回以上メディアに取り上げられている。メディア戦略・話題作り・巻き込みなどが武器。息子である「チビデミ-」とともに多くのインフラを広報している。立野ダムを多く取り上げているが、新たに建設中の長崎県本明川ダムの広報にも取り組んでいる。
08-088	チビデミ-	長崎県	一般	立野ダムが建設される様子を魅了され、父である「デミ-博士」とともにダムの使命と価値を伝えるため、市民に向けたダム周辺や堤体内部の見学会・ダムカラーコンテストなどを立野ダム・西山ダム・長与ダム等で行うとともに動画を制作しYouTubeで公開している。今後は、長崎県に建設中の本明川ダムでの各種イベントや動画制作などを実施していく。
08-089	チョビエリ	大阪府	一般	Xやインスタグラムにて 様々なダムへの訪問記録とともに、収集した100枚を超えるダムカードの紹介も行っている。過去には、TVにて「ダム女子」として紹介された実績あり。今後もSNSを通じて、ダムの訪問記録やダムに関する情報発信を活発に続ける。
08-090	そのだつくし	岩手県	一般	岩手県盛岡市出身（現在：雫石町在住）のプロ歴28年目の漫画家。地元紙「岩手日報」にて四コマ漫画の連載も行っている。地元岩手に密着し、Web連載「ずったり岩手」にて北上川五大ダムを見学取材し、石淵ダム、田瀬ダム、湯田ダム、四十四田ダム、御所ダムを紹介。今後も岩手のダムを中心に取材と掲載を行い、ダムの周知と理解に協力していく。
08-091	前畑 温子	兵庫県	一般	NPO法人J-heritageに所属し立ヶ畑堰堤のVR作成や全国の産業遺産（土木遺産含む）を活用する産業遺産写真家。関西電力株の黒部ダム60周年記念動画「水力発電の軌跡」にナビゲーターとして出演。2021年に「湊川隧道部」を設立し、鳥原貯水池ツアー（神戸市兵庫区）などを開催。鳥原貯水池だけでなく、地域の食やスポット・地域の魅力も伝える。
08-092	君島 直樹	宮城県	一般	SNSを活用し、全国のダムの魅力を発信する。YouTubeでは2024年に登録者1万人を達成し、X、Instagram、TikTokなどでも精力的に活動。2023年に中部地方整備局・長島ダム、2024年に中国地方整備局・志津見ダムおよび尾原ダムのPR大使を務める。ダムイベントや現地訪問を通じて、地域振興と社会への貢献を目指している。
08-093	ダム少年	山形県	一般	長井ダムをこよなく愛する小学生。関東や東北のダムを独自に調査し、「月刊 長井ダム」を創刊。その熱意が認められ、長井ダム管理所展示室に特別枠が設けられ、野川まなび館にも掲示されている。百秋湖まつりでは、小学生ながらダムガイドを務める予定。今後のさらなる活躍が期待される。
08-094	原 将	愛知県	一般	ダム天端やダム湖遊覧船でウクレレ演奏を行い、音楽を通じてダムの魅力を発信。「新豊根ダム社会実験DamJAZ」など、管理所からの依頼による演奏活動も継続中。音楽に関心のある人々にもダムの素晴らしさを届けたいと、イベント出演やダム訪問録をSNSで発信している。
08-095	宮澤 俊亘 (dam-kana)	長野県	一般	ダムや堰堤を訪問しアメーバブログ「ダムの奏でる」で訪問記を公開。多くの写真と数々のダムを訪問した記録を発信し、2022年から500件近くアップしている。月刊ダム日本では、2025年6月号、8月号にて「天竜川水系のダムをめぐる」というレポートを寄稿。今後もダムの魅力や現地レポートなど、ダムに関する理解を深める情報発信に努める。
		専門家	13人	
		一般	33人	以上